

平成 29 年 4 月 北秋田市長記者会見

平成 29 年 4 月 18 日（火）午後 2 時 00 分
市役所本庁舎 大会議室

1. 平成 29 年北秋田市議会第 1 回臨時会について・・・資料 1
2. 伊勢堂岱遺跡の世界遺産登録に向けた PR 強化について・・・資料 2
3. 「くまくま園」オープンについて・・・資料 3
4. 地域おこし協力隊員の着任について

その他

- ・ 5 月の行事予定

1. 平成 29 年北秋田市議会第 1 回臨時会について

平成 29 年北秋田市議会第 1 回臨時会を 4 月 25 日に招集することといたしました。
本臨時会には、「北秋田市市税条例の一部を改正する条例の制定」についての専決処分をはじめとする承認が 9 件、条例案が 1 件、補正予算案が 1 件、報告 2 件、同意 7 件の計 20 件の提案を行うことといたしております。

先ほどの議会運営委員会において、総務部長より説明をおこなっておりますが、一般会計補正予算案につきましては、既定の予算額に 2 億 5,011 万 2 千円を追加して、総額を 236 億 4,872 万 4 千円とするものであります。

歳出の主なものをご説明いたしますと、

○北秋田市ふるさと PR 大使制度事業として

202 万 9 千円

○結婚支援事業として

459 万 9 千円

○高度医療連携事業補助金として、

120 万円

○地域医療確保促進事業補助金として、

1,000 万円

○商業振興子育て応援事業として、

1,200 万円

○280MHz デジタル同報無線システム整備事業として、

1 億 5,472 万 1 千円

などを計上するものであります。

2. 伊勢堂岱遺跡の世界遺産登録に向けたPR強化について

昨年4月にオープンをいたしました伊勢堂岱縄文館や、伊勢堂岱遺跡には、全国から1万人を超える多くの皆様に訪れていただいたところではありますが、遺跡の価値をより多くの皆様に知っていただき、世界遺産登録へ向けた気運をより一層高めるために、PR力の強化を行いましたので、ご紹介いたします。

その内容といたしましては、「伊勢堂岱遺跡の専用ホームページの作成」、「ロゴマークの制作」、「スマートフォンやタブレットを使用した縄文館内のガイドアプリの作成」などです。

今年度の遺跡本体の公開は、4月22日（土）からを予定しておりますが、新たな機能が加わった縄文館にも足を運んでいただきまして、より多くの皆様に遺跡の価値を知っていただきたいと考えております。

また、来場した皆様から大変ご好評をいただいております「ジュニアボランティア」によるガイドもゴールデンウィーク期間中に予定されておりますので、多くの皆様にご来場いただきますよう、皆様方からもPR方、ご協力をよろしく願いいたします。

3. 「くまくま園」オープンについて

4月29日（土）10時より、今シーズンの「くまくま園」の営業を開始いたします。

昨シーズンは、多くのお子様連れのお客様や、市内外からの小中学校生にご利用をいただきましたほか、少しずつリピーターの方も増えてきたところであります。

今月16日には、昨年生まれましたメスの「ほのか」が、京都市の動物園で新たな生活を送るため旅立ちしましたが、今年は3頭の子熊が生まれ、元気いっぱいの新しい仲間が「くまくま園」に加わりました。

今シーズンも引き続き、クマもヒトも安らげる場所、そして、何度でも訪れたくなるような場所を目指してまいりたいと考えております。

また、4月29日（土）から5月7日（日）までのゴールデンウィーク期間中には、オープニングイベントとして、大人気の「子熊とのふれあい」のほか、カピバラとのふれあいコーナーなど、様々な企画をご用意しておりますし、5月4日（木）から6日（土）までの期間限定で、くまくま園の入場券をお持ちの方に限り、遊遊ガーデンでの釣り体験が500円できる企画も用意しておりますので、ご家族揃ってマタギの里エリアを何度でも楽しんでいただきたいと思いますと考えております。

4. 地域おこし協力隊員の着任について

5月1日（月）より、北秋田市地域おこし協力隊員として、男性1名に着任いただくことといたしましたので、ご報告いたします。

この度、着任いただきます隊員は、東京都板橋区在住の「米倉信人（よねくら のぶと）さん（51歳、男性）」でありまして、移住・定住の促進活動に従事していただくこととしております。

米倉さんは、旧森吉町出身の方でありまして、東京都内で30年以上システム関係などのお仕事をされておりましたほか、フェイスブック秋田県人会でのイベントの企画などにも携わってこられたと伺っております。

隊員としての委嘱期間は、5月1日からの1年間ではありますが、東京での生活経験から見た北秋田暮らしの魅力の発見や、様々な情報発信などを行いながら、当市の移住・定住促進を推進していただきたいと期待をしております。